

名家連ニュース

令和2年5月31日(日)
発行：特定非営利活動法人
名古屋市精神障害者家族会連合会
会長 堀田 明
TEL/FAX(052)846-5576 NO.721号

ハートネットTV (NHK/Eテレ)

◆ 新型コロナ 精神医療と当事者はいま ◆

2020年6月3日(水) 午後1時05分～午後1時35分 再放送

新型コロナウイルスの感染が拡大する中、精神科病院で起きている実情と、当事者の困りごとに迫る。精神科病院では、陽性者であっても精神疾患があることで感染症の専門機関への転院を拒否されるケースも少なくなく、感染リスクが高い状況にあるという。

当事者たちも必要な医療を受けられなかったり、環境の変化によって不安定になったりもしている。いま、精神医療や当事者を取り巻く現状、そして課題を考える。

【出演】堀合悠一郎、堀合研二郎、精神科医…高木俊介、荻上チキ【キャスター】中野淳

<https://tver.jp/corner/f0051838>

※ CTRL キーを押しながらクリックすればリンク先が表示されます (動画配信)

5月27日の放映で精神科病院の院内感染が放映されていましたが、翌日の5月28日に東京小金井市の武蔵野中央病院(精神科病院)の閉鎖病棟でクラスターが発生。感染症の専門医不在、精神科特例による少ない医師、看護師の配置人数…接触した医療従事者は自宅待機となり、さらなる精神的・肉体的負担が職員・患者を直撃していること、患者の感染者受入れを他病院が拒否すること(※今迄も他の疾病で入院治療を要する場合、病院側が受入れを拒否する偏見・差別実態は常態化していた)、保護室を隔離室として対応しているため入退院は停止状態になったことなど深刻な実態が全国報道されました。医療従事者の皆様のご苦勞・ご奮闘には、心から感謝申し上げます。

同時に、27日の番組の中で高木俊介医師が指摘したように、新型コロナは日本の精神科病院の脆さ、危うさを露呈したのではないかと痛感させられました。(文責：事務局/堀場)



新型コロナ関連の県内の情報



水道料金減免自治体27市町村に拡大



名古屋市独自の新型コロナ支援策の一環として、水道基本料金を2ヶ月間、全ての水道利用者を対象に免除します。(名家連ニュース718号参照)

こうした支援策が県内自治体に波及している中で、黒字経営の県営水道が料金を引き下げて自治体独自の努力を後押ししました。

水道料金減免自治体は、名古屋市、小牧市、春日井市、清須市、大府市、半田市、知多市、岩倉市、江南市、稲沢市、弥富市、愛西市、岡崎市、豊田市、西尾市、安城市、知立市、刈谷市、碧南市、大口町、扶桑町、蟹江町、阿久比町、大治町、飛鳥村、南知多町、あま市の27市町村に拡大しています。※県及び各市町村のホームページを参照して下さい。(事務局/堀場)